



我が町師勝町は名古屋市北部に隣接し、恵まれた自然環境と交通機能が備わった県下五七町村の中では、第二位の人口規模(四万人)を擁し、年齢構成指標などからみると、県下八八市町村中、五番目に若い活気あふれる町として発展しています。

リックスペースの確保により、緑の少なかつた駅周辺に新たに憩いの場ができました。また、このビルは商業機能、住居機能、コミュニケーション機能、駐車場機能を備えた機能複合ビルで、西春日井郡東部の商業・文化の発信地として地域の活性化と交流が期待されています。

『憩いの場のシンボル』として地域の活性化と交流が期待されています。この公園は、合瀬川(木津用水)がかつて人々から「コツツ」という名称で親しまれていた頃、この川を廻り木曾川から玉石を舟で運び、これを積上げて水害から郷土を守り、豊かな穀倉地帯を作り上げた先人の英知をテーマにした公園です。北側には石を積上げた螺旋状の山(コツツ山)を築き、周囲には町の休暇村に指定されている長野県大桑村で育った檜などの木曾五木を

元年十二月に完成した師勝役場庁舎の西隣には、平成元年十二月に完成した師勝町図書館・歴史民俗資料館があり、地域文化の拠点として利用されています。図書館は、中央の吹抜け部分にトップライトを設け自然光による明るい空間を創り出し、解放的な雰囲気の中で皆さんに生涯学習と情報提供の場として幅広く利用されています。

わが支部、わが町

始め沢山の木々を植えて木曾の山々を表現しています。

支部対抗ソフトボール大会

松浦利雄



よ

く

な

い

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

な

建築基準法解説シリーズ

一施行令第36条より49条まで

いじめい

アメリカとの戦争で日本
国土は焦土となり昭和三十
年頃までは大半が木造で復
興しました。あの頃の建築
教育は教師の考え方もまさ
に木造主流で上級生になつ
て若干鉄筋コンクリート、
鉄骨の図面を書かせるので
すが殆んどの時間が木造建
築の図面をたき込まれま
した。教師のなかには「鉄
筋コンクリートの図面を書
いたって、どうせお前たち
は大手へ就職しない限り一
生木造を監督して暮す運命
だよ」ということで木材の
性質、強度、継手、仕口、
すじかいの配置計画など卒
業間近まで一生懸命学生に
教えた方もみえます。ところがしばらくすると建築界
の状勢が一変しました。
あつという間に鉄筋コンク
リート、そして鉄骨建築が
普及しはじめました。建築
教育の考え方も、ここで大

きな曲がり角にきたので、製図課題は鉄筋コンクリート、鉄骨建築が主流になりました。時代の状勢に追われて木造教育の部分が、かなり圧迫され始めたのです。最近の建築教育を受けている学生で全部とは言いませんが、木造について殆んど知らないことを、かえつて得意にしていることがあります。構造的に無知なためかわしいと言ふより恐いことです。その木造の中でも毎日人々が生活を営んでいます。うな学生もおります。なげらどうなるでしょう。建築界としてあやまつてすむ問題ではありません。昔の木造建築のように巨大な大黒柱と巨大な梁でラーメン構造を考えていた時と異なり、今は資材節約としてローコストのため細い材料をト拉斯組み(すじかい)にして造っています。昔の考え方のように強度に余裕がないかもしれません。万一の場合を考えると、とても心配なのです。特に最近はこの木造の構造計画に対して悪い条件が重なつてきました。それは時の流れとしてリビングキッチンとか、ゆとりのある広さとか、あるいは空間を要求するようになつてきました。今のが木造の構造方法では、大きな部屋をつくると梁長が大きくなり、梁の強さ、その仕口へ伝わる力等非常にたくさん問題が発生します。ですからその事に確実に対応しなければならないのに建築技術者の基礎学力があまりない、大工さんも昔のような徒弟制度で棟梁からみつちりとしこまれる例も最近は非常に少なくなつており、やはり基礎知識が不足する

来上る製品はどうなるかと
いうことです。設計者は
ちよつと構造的に問題のあ
る画面も、何の問題意識も
なしに紙のこととてどん
どん書いてしまいます。大
工さんも知識不足で設計者
に意見申すこともなく
平気でその通りに造つてし
まうのです。ではこの現状
をどうしたらよいかとい
ますと、私は各大学にもう
一度この本造の専門コース
を設置することだと思いま
す。このコースは木構造の
基礎知識をしつかり学習
し、仕口・継手の技能実習、

(構造設計の原則)

第三十六条 建築物の構造設計に当たつては、その用途、規模及び構造の種別並びに土地の状況に応じて柱、はり、床、壁等を有効に配置して、建築物全体が、これに作用する自重、積載荷重、積雪、風压、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対し、一様に構造耐力上安全であるようにするべきものとする。

2 構造耐力上主要な部分は、建築物に作用する水平力に耐えるように、つりあいよく配置すべきものとする。

3 建築物の構造耐力上主要な部分には、使用上の支障となる変形又は振動が生じないような剛性及び瞬間的破壊が生じないような韌性をもたすべきものとすればならない。

(構造部材の耐久)

第三十七条 構造耐力上主要な部分で特に腐食、腐朽又は摩損のおそれのあるものには、腐食・腐朽若しくは摩損しにくい材料又は有効なさび止め、防腐若しくは摩損防止のための措置をした材料を使用しなければならない。

2 建築物には、異なる構造方法による基礎を併用してはならない。ただし、建築物の構造、形態及び地盤の状況を考慮した構造計算又は実験によつて構造耐力上安全なことが確かめられた場合においては、この限りでない。

3 高さ十三メートル又は延べ面積三千平方メートルをこえる建築物で、当該建築物に作用する荷重が最も下階の床面積一平方メートルにつき十トンをこえるものの基礎の底部(基礎ぐい)を使用する場合には、当該基礎ぐいの先端は、良好な地盤に達しないなければならない。ただし、建築物の構造、形

第三十六条第一項	第三項	第二項	第一項
<p>「その他の震動及び衝擊とは、駐車場とかプレス工場の設計等で用途上の特別の震動、衝撃に対しても耐えるようにしなければならないの意。</p>	<p>通常建てられている木構造を考える基本理念です。次号より、詳しく説明します。</p>	<p>「剛性」ねばり強さの意、弾性範囲をすぎても、破壊まで大きな変形に耐えること。鋼材などは、その優等生である。逆にガラス、コンクリート、石材などはその方の劣等生である。建築構造はねばり強いことが非常に大切である。</p>	<p>第三十七条について その方法についての解説は省略しますが使用すると最初にやつておけばそれよいといふものではなく、その後のメンテナンスが非常に大切です。建物の寿命はメンテナンスの金の</p>

態及び地盤の状況を考慮した構造計算上又は実験によつて構造耐力上安全であることが確かめられた場合においては、この限りでない。(の)
4 打撃、圧力又は振動により設けられる基礎ぐいは、それを設ける際に作用する打撃力その他の外力に對して構造耐力上安全なものでなければならぬ。
5 建築物の基礎に木ぐいを使用する場合においては、その木ぐいは、平家建の木造の建築物に使用する場合を除き、常水面下にあるようにしなければならない。
(屋根ふき材等の緊結)
第三十九条 屋根ふき材、内装材、外装材、帳壁その他これらに類する建築物の部分及び広告塔、裝飾塔その他建築物の屋外に取り付けるものは、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃によつて脱落しないようにしなければならない。
屋根ふき材、外装材及び屋外に面する帳壁は、建設大臣の定める基準に従つて安全上支障のないようにしなければならない。
第三十九条の二 屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものは、建設大臣の定める基準に従つて風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に對して構造耐力上安全なものとしなければならぬ。

第三十八条について
第一項 省略
第二項
第三項について
たとえば抗打基礎と、そ
うでない基礎を一つの建物
の基礎設計で混せてはいけ
ないの意、その支持条件が
異なるので不同沈下等の事
故を防ぐためのものであ
る。

第一項 省略

第二項
第三項について
一平方メートル当り十ト
ンと言うと大体七階、八階
位のビルを指す。このよう
な場合はボーリング調査を行
い、安全な地盤に力が到
達するような設計を義務付
けたもの。

第四項 省略

第五項
今では木べいを用いる例
は殆んどなくなりましたが
昭和三十年位までは殆んど
松杭で施工しました。木材
が腐蝕する条件は水、空気、
温度がそろっていることで

● 本会の役員選出規準が本年五月二十日の通常総会で決定し、九月六日の理事会及び評議員会で役員選出経過措置案が承認され、平成七年度からの本会役員が新しい規準で選ばれることになりました。特に会長選出は立候補制度となり立候補者を正会員が推薦し、評議員会の選挙により決定します。世評でよくいわれますが、なりたい人より、なつてほしい人、来年三月中旬の会長選挙には多くの立候補者がいることを望みます。

☆

● 恒例の建築展が中部経済新聞社と共催で終りましたが、景気の低迷で参展者が集に苦労したそうです。

☆

● 建築士デー懇親会は土会員参加三五五名で近年にない盛況。建築展出展者及び建材協会員との交流も

●連合会の全国大会は愛媛県松山市で十月十三日十四日の両日行なわれ、愛知県からは八十数名が参加し、女性部会は研究発表を西支部の新美さん他で行なわれ大変有意義に終りました。☆

- 本会組織委員会で検討中の委員会再編で既成委員会の委員数、委員任期、委員会の分掌、統廃合等、理事会報告及び「愛知の建築」投稿状況のチェックを実施しているようです。支部組織の検討でも、支部に入つてない会員の呼び名を、「本会会員」の名称をやめて「支部に所属していない会員」として支部組織率を高め会費の納入、本会事業の参加単位とし、本会事務局の事務負担を少なくし、リストラを進め、経費の節減に寄与できるか。

鈴鹿・入道ヶ岳登山
初冬の静かな山歩き。山頂の笹原から広大な見晴らしが楽しめます。
日時・12月11日(日)。集合・東名阪鈴鹿IC出口。午前8時。
コース・椿大社→北屋根

後編
記集

肌に寒さを感じ、各地より紅葉の便りが届く季節を迎え、一年の短さを痛感します。今年は、お米が全国的に豊作のニュース。昨年の不作による米騒動は夢だったのか。雨無し梅雨、夏の猛暑、節水生活と、体力の減退を食欲の秋に挽回して、年末、年始の準備を。中日ドラゴンズは最終戦に敗北、県民の期待、わかつやち国体は、愛知が「男女」共総合優勝に、皆んなで拍手を。

建築・土木工事の完全防水に……各種材料それぞれの特長を生かした併用工法に

カキモウゴーレンクス

EPTフチルラバー	アスファルトウレタン冷工法	アクリル系
ベルシート防水	ベルファルト防水	ベルウォール
ウレタン系	ウレタン系	EPTフチルラバー
ベルウレッカス防水	ベルフロアー	カネシート土木防水

久慈川化成株式会社

あなたの住みたい部屋が、私たちのつくりたい部屋です。

●壁装材・カーテン・カーペット・カーペットタイル・クッションフロア・フロアタイル

SANGETSU

名古屋市西区幅下1-4-1